

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先: 備蓄企画部 企画課 宮沢 電話: 03-6758-8033

広報担当: 総務部 広報課 高橋 電話: 03-6758-8106

志布志国家石油備蓄基地における総合防災訓練の実施について

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:細野 哲弘)が国から委託を受けて管理している志布志国家石油備蓄基地(鹿児島県肝属(きもつき)郡東串良町および肝付町、以下「志布志基地」)において、11月10日(土)、「平成30年度鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練(志布志地区)」が実施されました。

本訓練は、石油コンビナート等災害防止法に基づき、「午前9時00分、種子島沖を震源域とする震度6強の地震が発生、同時に大津波警報発表、基地内人員はすべて指定避難場所に避難。大津波警報解除後、原油タンクの配管付近から原油の漏洩を発見。防油堤内の漏油に何らかの原因で着火し火災が発生」との想定で実施されました。

訓練は鹿児島県をはじめ地元自治体、警察、消防署等の防災関係者総勢116名と、13台の消防車両等が参加し、漏油対応の初期活動としてのガス検知訓練、簡易油回収装置の設置訓練、防油堤内の火災防止のための泡放射(泡シール)訓練等が行われ、防油堤内の火災を想定した大型化学高所放水車、甲種普通化学消防車および応援に駆けつけた大容量送水車(ドラゴンハイパー・コマンドユニット)等からの一斉放水訓練を実施しました。

最後に、「パトロール中の7名が安否不明である」という想定を追加し、ドローンを使用した安否不明者の捜索を実施しました。このドローンにて高所から撮影した映像は、本訓練に引き続き実施された「平成30年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練・緊急消防援助隊石油コンビナート対応訓練」の緊急消防援助隊指揮者に報告され、これをもって、本訓練は無事終了しました。

【志布志国家石油備蓄基地の概要】

志布志基地は、平成5年12月に完成。鹿児島県志布志湾内に位置しており、良好な港湾条件に恵まれています。

また、日南海岸国定公園の一部であるため、周囲の景観を損なわず、美しい自然環境との調和を図るため、出島方式をとり、景観への配慮とともに万全な環境保全対策が講じられています。現在約418万キロリットルの原油が保管されています。

志布志国家石油備蓄基地(JOGMEC ウェブサイト)

http://www.jogmec.go.jp/about/domestic_007-05.html





自衛消防隊結団式



ガス検知訓練



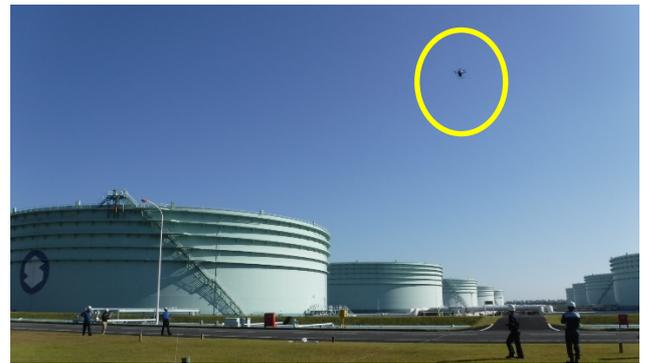
初期消火訓練



初動訓練(泡シール)



一斉放水訓練
(自衛消防・公設消防ドラゴンハイパーによる一斉放水)



ドローンによる捜索